

ケースA：国際フィールドスタディーの質保証

地方都市にあるA大学では、5年前に国際環境学部を設置し、主として途上国での環境・開発問題に視点をあてた研究と教育プログラムを実践してきた。海外の大学との連携もすすめており、グローバル人材育成にかかわる政府資金助成を受けることで学生の海外派遣も順調に展開されている。新たな試みとしてインドネシアの提携大学と共同実施される短期フィールドワーク（SFW）に各学期20人の学生を送ることになった。このSFWは「国際環境基礎実習」という科目として実施され、事前学習3回、現地でのSFW、事後学習2回により、2単位が付与される。SFWは春学期と秋学期の年2回、それぞれの学期中に実施される予定である。

このSFWに参加する学生は、10日間にわたって学期中に海外に出向くため、学部の判断で「公欠扱い」をする措置がとられている。これは教職課程をとる学生が「教育実習」をおこなう場合と同等の処理である。しかし、このSFWの実施にあたっては、大学全体の教務委員会で異論が出されている。対立する意見は次の通りである。

<反対意見>

- ① 免許・資格を取得するために必要な実習と、学部で独自に決定した実習を同等に扱うべきではない。
- ② 学期中に海外実習をおこなうことは、全学共通で取り組まれている教養教育などに少なからず影響を与えるものである、学生の学習時間を確保する観点からも望ましくない。教育カリキュラムの「質保証」の観点から、学部独自の海外実習は、夏季あるいは春季の休暇中などに実施すべきである。

<学部の見解>

- ① 国際環境学部の基本理念は「現場主義」であり、できるだけ多くの海外学習体験を学生に持たせることが必要である。政府の助成金も、学生の海外派遣を前提としている。
- ② SFWは海外の政府機関、NGO、大学と連携したプログラムであり、海外実習を夏休みと春休みに限定すると、連携機関との調整が非常に困難になる。
- ③ 教育カリキュラムの「質保証」の観点から、学部独自の海外実習に関して、アカデミック・カレンダーは柔軟に運用されるべきである。

学部としては、本SFW事業の遂行を一日も早く着手する予定にしているため、できるだけ早く事態を收拾しなければならない。あなたの立場から、この問題にどう対処すべきでしょうか？また、「質保証」の観点からどのような論理展開が求められているのでしょうか？

ケースB：国際標準の授業評価は可能か？

ある私立大学B大学では、授業改善に役立てることを目的に2004年に授業評価を導入した。実際に授業評価をどう活用するかは個々の教員にゆだねられ、また、教職員組合との合意により、授業評価は公表されてこなかった。

2014年にオランダの協定校であるQA大学と共同授業をおこなうことになった。この授業では、英語を共通言語としてオンライン教材などを駆使し、両校の教員が共同で授業を担当している。学生は、休み期間に短期に相互訪問するほか、学期中はネットを介してのグループワーク、テレビ会議システムを使った最終プレゼンテーションをおこなう。成績評価は両校の教員が共同でおこない、学生による授業評価についてもQA大学のオンライン・システムを使って共同実施することになった。

しかし、このQA大学での授業評価システムは結果の公開を原則とおおり、B大学の教授会からは公開に反対する意見が出された。B大学のFD担当委員は、国際連携部門を通じてQA大学に対して、授業評価の公開をおこなわないように申し入れたが、QA大学側は教育改善と質保証の観点から公開を中止することはできない、と返信してきた。

一方、B大学における授業評価は、結果の活用を個々の教員の自主性にゆだねているため、全般的に形骸化していると言わざるを得ない。過去5年の授業評価において、5名の教員が学生から極端に低い評価を受け、50%以上の受講者が「この授業を後輩に薦めない」としている。これらの教員は、毎年、同じ教材を使い同様の講義内容をくりかえしているため、授業評価を改善材料として考慮していないことは明らかである。今回の国際共同授業を契機として、徐々に授業評価結果が公表されるようになれば、こうした教員の姿勢にも変化がもたらされるのではないかと期待される。

<公開に反対する意見>

- ① 教職員組合、教授会を中心に「教員を評価するための道具として授業評価の結果が使われるべきではない」という見解表明が繰り返し行われている。
- ② 一部の教員の間では、「学生の人気投票のために授業をしているのではない」という意見も寄せられている。

FD担当委員の立場からは、教職員組合、教授会の意向を無視することはできない。しかし、この国際共同授業の実施を契機に、授業評価の本来の目的に立ちかえり、学生の教育に資するように授業改善につなげていく努力が必要であることも認識している。あなたはこの問題にどのように対処すべきか？